

2024 年度

ニチキッズちよだ水道橋保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 10 日（金）～2月28 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月28日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添うこと、子どもの気持ちをくみ取ることの大切さを園内研修にて全職員が改めて学び、保育園作りをしていくようにした。
子どもの発達援助	子どもの発達を見ながら保育計画を立案し保育を行っているが、その時々の子どもの想いを大切に、個々が遊びを選び取ることができる環境を提供することでより子どもの発達、実情に沿った保育をしていきたい。
保護者に対する支援	送迎の際、その日の子どもの様子とともに、成長を感じられる姿等を伝えられるように意識した。保護者参加の行事も子どもたちの発達に合った内容にしたことで無理なく行うことができ、保護者同士の交流もできた。
保育を支える組織的基盤	外部研修や内部研修を積極的に参加するようにし、職員会議等で共有し合うことで全体のスキルアップを図った。今後も学んだスキルが保育に実践活用できるよう更なる保育の質の向上を目指していきたい。

総評
園の保育理念や保育方針を職員が理解した上で、今年度の子どもたちに合った計画を立て取り組むことができた。職員も自身の保育の振り返りをし、課題をあげ次年度の目標を明確にしていた。食育に関しては毎月の季節に合った食材と、子どもたちの発達に沿った内容で実施することができた。引き続き子どもたちが興味をもって取り組める内容にしていく。また、今年度も積極的に研修に参加できるようにし、その研修を共有し保育で実践していくことで、保育の質向上を目指していく。保護者に対しても引き続きコミュニケーションを大切にし、信頼関係を深めていく。更に子育て広場や HP の充実を図ることで、園児獲得へとつなげていきたい。